

平成 24 年度 第 2 回
第 5 期 新南陽地区地域審議会
会 議 録

日 時：平成 24 年 8 月 23 日（木）

場 所：新南陽総合支所 4 階 41 会議室

平成 24 年度 第 2 回 第 5 期新南陽地区地域審議会

会議次第

日時：8月23日（木） 10：00～

場所：周南市新南陽総合支所 4 階会議室

1. 開会

2. 市民憲章唱和

3. あいさつ

4. 議事

（1）新市建設計画の進ちよく状況に対する意見について

（2）新市建設計画期間終了後のまちづくりの方向性について

（3）答申書の作成について

5. 閉会

平成24年度 第2回 第5期新南陽地区地域審議会 会議録

- 日時 平成24年8月23日(木) 10時00分～
- 場所 新南陽総合支所4階41会議室
- 出席者 委員11名(欠席4名)
中村利孝、原田常代、安達一樹、清水真由美、岡田昭彦、久村貴美子、
宮崎 進、渡部美紀恵、伊藤禎亮、吉鶴 猛、山本正之
事務局4名
三浦新南陽総合支所長、中村次長兼地域政策課長、川崎課長補佐、中村係長
- 資料
- ・新市建設計画進ちょく状況に対する新南陽地区地域審議会委員からの意見集約
 - ・新市建設計画期間終了後の方向性について

会議議事録

1 開会

2 市民憲章唱和

3 議事(要約)

●会長

皆さん、おはようございます。

暑い中、また、お忙しい中、ご案内申し上げましたところ、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

今日の議題につきましては、お手元に配布いたしました次第に沿って進めていきます。

なお、皆様方のご理解、ご協力をお願いしまして、(仮称)学び・交流プラザ整備事業もある程度順調に進ちょくしていると伺っております。いろいろありがとうございます。

報告になりますが、7月2日に会長、副会長がそろいまして、市長に面会し、今までの経緯と、第1回の会議の内容をお伝えしております。

その中で、図書館については、まだまだ難問があるようなので、十分市民の意見を聞いて、配慮していただきたいということも伝えております。

また、7月7日、市議会事務局から、(仮称)学び・交流プラザにおける図書館の設置に関する陳情について、議会で審議するにあたり、委員会としても幅広く意見を聞きたいということで、午前中は、署名活動をされ陳情を提出された方を代表して3名の方の意見を

聞き、午後は、地域審議会で出た意見も聞きたいので出席いただきたいという要請がございました。

そこで、会長、副会長、学識経験者の委員の3名で出席し、委員会は約1時間30分に及びましたが、わたしや副会長、委員が、これまでの経緯や地域審議会での意見を述べてまいりました。

このことについても、事後報告になりますが、ご理解をいただきたいと考えております。

さて、今日は、3つの議事を進めさせていただきます。

1つが新市建設計画の進捗状況に対する意見、2つ目が新市建設計画終了後のまちづくりの方向性について、3つ目が答申の作成について、でございます。十分な審議をお願いいたしまして、簡単ですけれどもあいさつに代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

●事務局

会長、ありがとうございました。

引き続きまして、皆様からいただいております質問に対して、回答をさせていただきますと思います。

新市建設計画の進捗状況につきまして、ハード事業とソフト事業の一覧をお配りして、質問をお受けするところ、質問が1件ございました。

ハード事業のNo.40合併記念公園化事業について、「永源山公園東口は、計画の廃止、また、続行とのニュースがあるが、現在どの方向を向いているのか」という質問でございました。

所管課に確認しましたところ、現在の状況でございますが、休止中というような表現になっております。

しかしながら、この事業は都市計画決定をしている事業であり、また、大規模災害の際に永源山公園を避難場所として活用するなど必要な事業であることから、実施に向けて前向きに検討を進めている、という回答をいただきましたので、皆様に報告させていただきます。

それでは、これから議事に入りたいと思います。議事進行につきましては、会長にお願いいたします。

●会長

それでは、議事進行につきましては、委員の皆様方のご協力をいただきながら進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

まず、議題1. 新市建設計画進捗状況につきまして、ご意見をいただきたいと思います。意見をまとめたものは、先に皆様にお送りさせていただきます。

●委員

意見を出した人から、補足説明があればしてもらった方がいいのではないのでしょうか。

●会長

ご提案がありましたように、提出をされた人から、補足があればしていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

それでは、新市建設計画の進捗状況に対する新南陽地区地域審議会からの意見集約ということで、簡単で結構ですから、順番にお願いいたします。

まず、ハード事業 No.4：和田地区総合庁舎整備事業についてお願いします。

●委員

記述のとおりです。この話が出て20数年になります。何の進展がないがどうなっているのかと思っています。

●会長

次に、ハード事業 No.6：福川駅前周辺整備事業については。

●委員

福川駅前には、以前、車が交差点の角の店に突っ込んだりしていました。今は歩車分離信号になってよくなりましたが、信号で待つ人は多くいます。また、新地の踏切までの間は、ガードレールもありますが、高校生たちが帰る時間は少し混雑します。あの辺りは、立ち退きもあってきちんと整備されると聞いていたのですが、それは立ち消えになったのでしょうか。車のスピードもあの辺りは出ているので、危険だと思います。

●会長

分かりました、次もNo.6ですけれども。

●副会長

駐輪場があるのですが、横断陸橋の下にたくさん駐輪するようになって、大変困っている。地域の人が自転車を片付けておられるが少々片づけてもだめです。おそらく、今でも14、15台は置いているのではないだろうか。簡易でもいいから駐輪場に屋根を設けるようにはできないだろうか。

●委員

次のNo.6については、今のままであれば何もできない。検討する職員を入れ替えて、人口や産業の動向などを考えて行わなければ、結局今のまま放置される。実施するのならば、

大きく入れ替えてやらないとだめだということが言いたかった。

●会長

次は、No.20：羽島住宅地建替事業についてです。

●副会長

瀬の上住宅は、数十戸は空いているのではないかと思います。これからは老人が多くなるし、福川地域にも老人保健施設がほしいという話が出たときに、市営住宅を集約して、空いた棟を改造したら、新しい施設を作るよりは安くできるのではないかと思います。

●委員

No.20 ですが、あそこは現実問題として、住宅としていらない部分があるのではないかと思います。だから公園化したほうが良いと思う。

●副会長

No.29 辰尾公園整備事業についてですが、わたしは、地域の遺族会の世話をしている、上に忠魂碑と報国碑を作っているのだけれども、シニア交流館の方から行くと、確か130から140段ある長い階段があって、上がるまでが大変な状況です。

国道2号線側から歩道を設置するなど、楽に上がれるようにできないだろうか。

福川地域が一望できる所で、誠に景色はいいが、上がりにくいことが室の持ち腐れになっています。

●委員

No.74：デイサービスセンターについて、独居老人の方は、いきいきサロンなどでお誘いがあったりするのですが、元気な方たちにこのいきいきサロンの話をすると、ご存じない方がいらっしやいます。社会福祉協議会と合同で開催されていると思うのですが、市広報などで周知していただけると、家に一人でいらっしやる方が利用されるのではないかなと思います。

●委員

No.100：青少年研究施設について、老朽化した宿泊施設に子供が泊まった時の事故が何件かありましたね。秋芳洞付近のホテルなどでも。

老朽化している施設を見直してもらえないかなと思います。

●会長

次に、No.103：防災行政無線施設整備工事について、1つはわたしが書いているのですが、

地域が自主防災に盛んに取り組んでおります。既に、和田地区、福川地区、先般、富田東地区も自主防災組織が発足しております。富田西地区も発足に向かっています。

そうした中、先般、企業の爆発事故がありました。その際に広報車を出したのですが、聞こえなかったという声もありました。早く整備していただきたいという要望です。

●委員

No.138：福川漁港関連施設整備については、約25,000平方メートルと思う。魚市場や野菜市場を作ろうという計画で大変なお金をかけて埋め立てたものです。

しかし、合併をして、今は何もできていない。いろいろと考えたけれど、あそこに運動場や野球場を作ってもだれも利用しないだろう。何もしないぐらいなら、環境学習の見学を兼ねて、メガソーラを作った方がいい。あそこは、何かに使うというものがないのです。海のそばだから、建物を作っても錆びますね。

●会長

No.151：富田西地区コミュニティセンター整備事業について、旧新南陽市が土地を購入しましたが、区画整理等の関係もあって、未着手になっています。

先般から、あの辺りの工事も進捗しておりますし、JR山陽本線から南がとんとん会館、国道2号から北には、ほのぼの会館ができており、新たに整備というのは大変難しいかもしれないが、これまでの経緯もありますし、地域も望んでいるという声も聞きますので、意見としてあげました。

次に、ソフト事業に入りまして、No.5からお願いします。

●委員

No.5：公共交通機関の拡充整備について、街なかふれあいバスの運行は、市議会で取りやめが決まったようですね。時々見かけたときに、利用者は便利にしておられたようでしたけれども。

●事務局

補足をさせていただきたいのですが、この事業につきましては、市として、来年の3月をもって廃止の予定ということで、明日、臨時市議会の中で、行政報告をさせていただくようになっております。ご意見ありがとうございます。

●委員

No.5：国際交流事業についてですが、国際交流が必要なことはわかるのですが、今、国際交流は市内に関係団体が20くらいあるらしいのですが、新聞やテレビに出たり、市が取り上げたりしているのは、行政がしたことだけですね。他の活動は誰がどこで何をして

いるか知らないですよ。だから市民の関心が起きない。

わたしもときどき国際交流に呼ばれていくのですけれども、国際交流は、携わっている人だけの問題になっている。おそらく国際交流に関係ない人は何の関心もない。市民が主役というが、やっていることは違うのではないかと思う。

今のままの国際交流事業を見て、国際交流をやっているというのは、わたしはちょっと違うのではないかと思う。全般を見直すべきです。

●会長

次に、No.10：人材の育成についてお願いいたします。

●委員

あまり言いたくないが、公務員は自分が退職したら地域にあまり関わらない。

在職中に地域活動をしないと、退職後に活動することはないのでないか。日ごろから色々な活動を身に着けることをしないと、在職中も、退職後もその人が市にとって大切な人にはならないのではないかと思います。

たとえば、民生委員とか保護司とかいろんな活動があるが、公務員は少ないですね。これは、本当に市が取り組むべき問題だと思います。職場の活性化にもつながると思う。

●会長

次に、No.14：ボランティアバンクの設置についてお願いします。

●委員

市は、ボランティアバンクを作ったと書いているが、1,000人以上あってはじめてバンクができたといえる。少人数でおおむね実施とあるがどういうことか。

それで実施したというならば、そもそも、ボランティアバンクというものは必要ないのではないかとさえ思う。

●委員

ボランティアという言葉が抽象的すぎて、対象者がどういう人で、利用者がどういう利用をしているのか、きちんと周知されていないのではないのでしょうか。

●委員

No.23：学校教育への住民による地域教育を導入についてですが、開かれた学校というのは何か、学校教育への住民参加、地域教育というのをもう一度提示したほうがいい。

そうしないと、言葉だけが走る。このように思います。

●副会長

No.40：安全な避難場所の適正配置についてですが、福川地区自主防災組織を一昨年立ち上げました。地域によっていろいろ特性があるが、新田地域にはシマヤの工場があります。たとえば、津波の際に新田地域の人が新南陽ふれあいセンターに避難することは、おそらく間に合わないから、一時的に、このような企業の施設を借りるような方法が考えられないか。まず、そこがあって、その後指定の避難場所まで行けばいいのですが。

一時避難場所として、公共施設以外の身近な民間施設を、市の方でいい手立てができないものか。われわれが直接行っても、スムーズに話ができればと思います。

福川地区は、ご存じのように、福川小学校区と福川南小学校区があって、事情はみな違うのです。福川小学校区の方は、福川小学校が一番避難しやすいと思うのですが、南小学校区になると、津波や高潮が発生すると、なかなか南小学校だけというわけにはいきません。元の世界長の中の高台や、羽島地域の山などに早く逃げられる場所を作ってもらいたいと感じています。

●会長

No.49, 50：地域農林産業の振興についてお願いします。

●副会長

わたしは、今、福川に住んでいます。福川の漁業のことですが、皆さん高齢になって、ほとんど漁を辞めている。その子どもは企業に就職して後を継ぐ人がいない。

一次産業の農業や漁業について、もう少し市のほうで積極的な取り組みはできないものか。

ご存じのように、新南陽市の時に保土ヶ谷の沖に市場を作るということでした。公設市場を作って、野菜と魚などを市民に安く安定した価格で提供できるということだったと思います。

徳山に市場があるので、周南市はそちらで一本化し、埋立地がそのまま放置されている。残念でならない。今は、防波堤のコンクリートブロックを作る際に活用されているようだが、まったく物置場に近のような使い方になっているのが実感だ。

自分たちが自給自足できるような一次産業に力を入れてほしい。学校給食センターもあるわけですから、学校で地元のもの食べるシステムを作ることができないかということです。

●会長

最後になりましたが、その他の意見ということで、生活交通についてと、老朽化した橋の架け替えについて、をお願いします。

●委員

先ほどの漁業の話と同じことで、和田地区においても高齢化が進み、独居者も増加し、厳しい状況です。また、医者もいなくなるまで長くないという中で、生活をするのが困難になる。それで、みんな富田地区に出ていくようになるわけです。交通手段がある人はいいますが、そうでない人は本当に支障がでると思います。

それと、橋は老朽化し、今は塗装がされていますが、以前は鉄筋が見えており、また、バスが通れば揺れるような状況です。

●会長

ありがとうございました。

以上、皆様方からいただいた意見につきまして補足説明をいただいたところでございますけれども、ご承知のように、本来であれば、これらすべてを答申書に書きたいのですが、ご覧のとおり、二十数項目ございます。

そこで、諮問にありましたとおり、「1、市民の安心・安全の確保」「2、地域の特色を生かした事業の展開」「3、安定した市民サービスを提供できる行財政基盤の強化」の3つの視点を踏まえたうえで、絞り込んでいきたいと考えております。

また、絞り込むということになれば、富田地区、福川地区、和田地区と、新南陽全体でという考えをもっておりますけれども、皆さん、意見がありましたら出していただきたいと思っております。

●委員

視点を、もう少し全体的な立場からみて3つの諮問に対する整理をしていったらどうかと思っております。

東洋経済という雑誌が、全国の市を対象に住みよさランキングを年に1回掲載している。お手元に資料を配らせていただいたけれども、この中で、下松市は全国788ある自治体の中で13位です。さらに、柳井市は39位になっている。何が柳井市を39位にしたかということ、わたしたち一人ひとりがもう一度見直しをすべきと思う。

下松、柳井のまちがなぜ良かったかという、基本的には骨格となるアクセス道がきちんとしている。そのアクセス道の中に民力を入れ込んだ。これがまちづくりです。それに国や県と一緒に大きな公共投資を行う。このように新南陽のまちをもう一度見直すべきではなからうかと思っております。

こうした視点を含めて、ぜひ次の世代に向けて、新南陽地域をすごくいいまちにしていきたいなと思っております。

最後に、「まんどころ来てみんな祭」は、市からの補助金などをもらわないで行われる立派な祭りです。その商店街や地域の人たちが集まって開催をしている。民力を結集するまちづくり、まちおこしとして成功しているのではないだろうか。

●会長

ご意見をいただきましてありがとうございます。

そういう方向でもいいと思いますし、そのほかにも、皆さんから意見があればお願いします。

今回絞り込みが難しければ、今日は意見交換のみにして、次回絞り込みをさせていただくという方法でもいいと思います。

●委員

福川の中畷や羽島、富田の中溝の市営住宅などは、非常に老朽化しており、とても狭い部屋です。このような市営住宅は早急に整備すべきです。

●委員

10年先を見通し、あの市営住宅をどうすればいいのか真剣に考えなければいけない。

人口がどんどん増える時代に対応して市営住宅を建てたけれども、今、人口減や高齢化になってまちの構造が変わってきたのだから、これも含めて検討しなければいけない。

戦略的な構想というのは、そこを動かしたら周南市全体が変わるという問題を見つけなければいけない。そういう問題を見つけ出すということが、市の仕事だ。そういう時代が来ているのではないかと思うのです。

●会長

他に意見がないようでしたら、今回は意見交換だけにして、次回絞り込んでいこうと思います。議題1については、今日はこれで終了したいと思います。

次に、議題2の新市建設計画期間終了後のまちづくりの方向性に入りたいと思います。

皆様方から、ご意見がございましたら、お伺いしたいと思います。

今日配布してある資料につきまして、配られた委員から説明をお願いいたします。

●委員

地域審議会委員として、意見をまとめました。

まずは、現在、整備途中の都市計画道路が3つ残っています。

1つは日新製鋼の前から東ソーの前を通る道路である宮の前線、合併をしてこの事業が止まっている。その沿線上には保育園があり、さらには、運送業の倉庫類が立地しているのですが、行き止まりなので利用できません。

それから、デオデオ家電量販店の北から西に向かって、富田東小学校の北側を通過して、政所東の整備された広い道につながる川崎平野線という道路がありますが、これも途中になっています。

もう1本、中開作線がありますが、これは施工しますよね。福川の三島開作、中開作、

室尾開作の地内の真中に整備するものです。

これらは、都市計画道路と言い、新南陽の骨格になる道路なのですね。これを整備することが、さっき言った下松市や柳井市のようなまちづくりを担う道路となるのです。その道路が中途半端になっています。

その3本と、もう1本整備してもらいたい道路が、都市計画道路中溝線 of 早期着工です。

これは、今、区画整理事業で施工しております新南陽幹部交番の東側からまっすぐ北に上がって、国道2号線の中溝交差点に出てくる道路です。

新町地区の磯部酒屋の南までは区画整理事業で施工することになっていますが、磯部酒店から国道2号までの320メートル区間が整備計画に上がっていません。これがなぜ必要かという、富田地区における唯一の国道2号の結節なのです。現状は非常に不便で、国道から南方向には進入禁止だし、50メートル進むとまた信号がある。ぜひお願いをしたいと思います。

それから2つ目は、若山城の公園化と陶の道の整備についてということをお願いしております。

若山城は周南市唯一の城です。城というのは、歴史上は平和のシンボルでもあるのですね。ぜひこの城を財産として守ることを、市としてきちんとしてほしいということです。永源山公園のような形まではしなくていいですけども、せめて、市が維持管理をすることを明確にして、せっかく陶の道も整備しておられるので、これも地元の方と一緒にって取り組む体制作りをしていただきたいというのがお願いです。

3つ目は、永源山公園ですが、開園して20年くらいたっています。残念ながら最近風車の所に上がっても、木は大きくなって、景色が見えなくなってきた。全体的に見直し時期になっていると思うのです。ぜひこの機会に、東口エントランスの整備も含めて、永源山公園は新南陽地区の財産であることの位置づけをしっかりと、将来にこの財産を引き継いでいけたらなという気持ちです。

●会長

貴重なご提言ありがとうございました。今、ご提言がありましたけれども、これらも地域の大きな課題と思います。

●事務局

新たな地域課題の洗い出しということで、担当課として情報提供させていただきたい件が1つあります。

先ほどから、福川南地区の浸水対策の関係、それから、副会長から出された避難場所の意見が出ておりました。

直近の8月11日土曜日に大雨が降ったことを皆さんご存知でしょうか。あのときは時間雨量80ミリという今まで経験がないような雨が新南陽の南部に、和田地区では時間雨

量100ミリ近い雨が降りました。

10年前は20~30ミリで大雨と言っていましたが、ここ数年はこのような大雨が局地的に降るという状況で、浸水の問題、防災の問題というのは、新たな地域課題と新南陽総合支所では捉えております。

実際にどういう被害があったかという、富田幼稚園がある浄真寺の横にある浄真寺川に橋が架かっていますが、橋の一部が崩落しました。護岸も削り取られて、非常に危ない状態でした。また、清水・王司の地下道は朝5時にわたしたちが出勤した時点では、完全に冠水していました。

短期にそれだけ大量の雨が降った時の対応、ハードもソフトもあると思うのですけれども、課題として、こうした事実を体験したことも踏まえて、皆さんにご紹介したいと思いをさせていただきました。

●会長

ありがとうございます。

●委員

いつでしたか。正式には何ミリですか。

●事務局

8月11日の土曜日、朝4時ぐらいから、雷をともなった雨が降り始めました。4時から5時の間で雨量80ミリですね。5時から6時は雨量50ミリです。音羽橋の観測地で4時から7時までの3時間雨量で165ミリです。かなり局所的でしたから、川崎地区、大神地区で感じられたのと、あるいは福川地区で感じられたのは、若干違いはあると思うのですけれども、大量の雨が短時間で降ったということです。このことは、今までのまちづくりの中では、ハード面、ソフト面含めて不十分であったと思います。

こういった雨の状況に対して、先ほど話がありましたが、自主防災組織の活動が各地域で取り組まれている状況を踏まえて、これからの地域づくりとして、事実として受け止めていただいて、考えていただければと思います。

●会長

はい。ありがとうございました。

それでは、新市建設計画期間終了後のまちづくりの方向性について、皆さんのお手元にも資料をお配りしていますが、このことについてご意見をいただきたいと思います。

できれば9月14日金曜日ごろまでにご提出いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

●委員

ハード事業、ソフト事業に分けて、ワーキンググループを作った方が皆の意見がよく反映できるのではないのでしょうか。

●会長

そうすると、審議会にしても勉強会にしても、時間がかかりますが、皆さんがご理解いただければ、それが一番いいのですけれども。

新南陽地区地域審議会として、将来の周南市のまちづくりの肉付けにしたいと思うのですが、いかがでしょうか。

●委員

今日出た意見が16項目あるから、それをふまえて2つぐらいのワーキンググループに分け、委員が自ら作った方が、中味の濃い答申書ができるのではないかと思います。

●会長

今の提案はいかがでしょうか。

意見を提出してもらうよりも、勉強会を開催して作っていくということで、いかがでしょうか。

●委員

そのほうがいいかもしれない。

●委員

皆が意見を言えるかもしれない。

●会長

12月いっぱい意見をもとめなければいけません。それまでに、勉強会を開いて、皆でそれぞれ考えてもらって、まとめる方向でいいですか。皆さんのご理解をいただきたいと思います。

今回は勉強会を開催し、新市建設計画の進捗状況に対する意見をハード事業とソフト事業のグループに分けることと、終了後のまちづくりの方向性については、皆さんに当日意見を持ち寄ってもらって、それをまとめなければいけないと思います。

グループ分けの人選については、次回に行いたいと思っています。

●委員

新市建設計画の進捗状況に対する答申は、これまでの進捗について○です、×です、△

ですという回答でいいのか。過ぎ去ったことをやかましく言ったってどうにもならない。

それよりは、これからのまちづくりの方向性についての議論を集中的にやった方が当審議会としてはいい方向にまとめられるのではないか。

もちろん、これまでの進捗状況については反省しなければいけない。それはあまり深くやっても仕方がないと思うがどうなのだろうか。

●事務局

今までやったことについての意見というよりも、特にハードについては、新市建設計画の中でも未実施になっているものについて、10年間を振り返った時に、10年前は必要だったけれども、現在は未実施になっていて、今の事情からはそれは仕方ないという事業もあるでしょうし、逆に未実施となっているけれども、本来はもっと取り組まないといけない事業があるのではないかとか、そういう視点で進捗状況についての皆さんのご意見を集約していただきたいと思います。

●会長

委員から、みんなで話し合っやろうという提案がありました。そうすれば、おのずから勉強会を開催しなければならないと思います。まとめるまでに2回か3回の勉強会と思うのですが、皆さん、ご協力をよろしくお願いします。

それでは議題3の答申の策定についてです。12月の末までにまとめて答申をしなければいけませんので、それに間に合うようにまとめなければいけません。

●一同

はい。

●会長

以上、予定しておりました議事は終了いたしました。次回は勉強会を開催し、答申の策定に向けご協力をいただきたいと思います。

それでは、本日は終了させていただきます。ありがとうございました。

9 閉 会